

各 位

今年度の活動振り返りと来季に向けて

総監督 我妻博之

1. 今季の戦績と来季に向けて

小学部（6年生・5年生）は、6年生（16名）と5年生（4名）にてフレール代表チームを構成し、今春の大田区大会で優勝を果たしました。昨年に続き、2年連続の全日本選手権の東京都予選への出場も叶いました。この代表チームの活躍が、5年生19名に刺激を与え、夏の大田区新人戦優勝につながりました。

教育部（4年生以下）も健闘し、大田区ジュニアトーナメントで3位となりました。

秋以降は、天候不順となる中、関係各位の尽力により、数々の大会が運営される一方、力をつけ各種大会で勝ち上がっていた6年生には不運な過密スケジュールとなったのは、残念でした。

5年生は、この下期の上部大会で同じ強豪チームに2連敗しました。ここからスタッフ・選手が何を学び、何を思い続けているかで、来春の成果が変わると思います。

4年生もようやく10名のメンバーが揃いました。まずはひとりひとりが選手の自覚をもち、チームの一員として踏ん張るよう、指導していきます。

3年以下は惜しくも、城南3年リーグの優勝を逃しましたが、文京区オレンジボール大会出場権を獲得しました。

来年も小学部・教育部ともに、「オールフレール」で上部大会出場・優勝を目指してまいります。

2. 選手へのアプローチ

- ・ チームメイトを大事な仲間と認められる（敬意）
- ・ 人の話を聴ける（傾聴）
- ・ ありがとうと言える（感謝）

の3点につき意識して指導しましたが、これを来期も継続します。

教育部には、まず野球のドキドキを体感して野球好きになるよう、出場機会を増やす取り組みを継続します。

小学部には、週末のチーム練習・試合は、自主練習成果（準備）を発揮する機会ととらえて「平日の自主練習」にも積極的に取り組むよう指導します。状況に応じ、来期も朝練（バッティング練習）を検討します。

3. スタッフによる経験の継承

選手指導の現場でスタッフが培ったノウハウをいかに継承していくかでフレールの今後が決まります。

スタッフひとりひとりの知見をどのように共有していくか、工夫してまいります。

また、スタッフにスポーツ指導員資格をもつことも奨励します。

4. 保護者の活動

保護者のみなさんには、練習場所の確保・遠征移動・選手ケア係のほか各種行事を運営いただきました。

また保護者には選手勧誘にも尽力いただきました。その結果、この秋体験練習参加者が増え、来春の入団につながりそうな流れとなっております。

※女子の体験練習参加者が増えております。

5. 学びの場

「総合力」でチーム力向上を図るべく、

- ・タグラグビーを通じたチームビルド講習会（選手も参加）
- ・スポーツトレーナーによる肘、肩、腰のケガ予防セミナー
- ・管理栄養士によるアスリート向け食育セミナー

を実施し、保護者・スタッフともに「学びの場」を設けました。

来季も、選手・保護者・スタッフが思いをひとつできる活動を目指してまいりますので、

何とぞご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

以上

